



清水建設株式会社

人事部 ダイバーシティ推進室
室長

奥村 正己さん(左) 田中 幸恵さん(右)

企業プロフィール

- 事業内容：建築・土木等建設工事の請負(総合建設業)
- 従業員数：11,215名(2011年4月1日現在)
- URL：<http://www.shimz.co.jp>

上司と職場が互いに協力して 休暇の取得を促進

実践!

こうすればできる!こうすればのびる!

- ① 本人と上司に通知して取得を促す
- ② 取得しやすい休暇のネーミングを考案
- ③ 休暇を制定することで社会貢献の意識を高める

現場異動休暇

休みにくい現場のために

当社は、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みの一環として、様々な休暇制度を取り入れています。

当社に限った話ではないですが、建設業は土日作業をせざるを得ないケースや天候に左右される現場などがあり、週休2日制を導入しているとはいえ、休日出勤することもあります。さらに、一つ現場が終わったら、また次の現場に異動するため、新しい現場が始まると休みが取りにくくなるということもあります。そこで、新しい現場への異動前にしっかりと休んで、次の仕事への活力を養うことを目的に「現場異動休暇」という名称の休暇制度を作りました。1991年(20年前)に導入した休暇制度で5日間取得することが可能です。土日をつなげると最大9日となります。異動に際しては、本人および上司に異動休暇の取得対象であることを通知しているほか、各部門でも休暇の取得指示を出すなどして取得を推進しています。また、前の現場では忙しかったため休めなかった場合など、きちんと休んでリフレッシュして欲しいという気持ちから上司の理解も深まっています。現場異動休暇

の取得率も徐々に高まってきており、制度として普及しています。

「現場異動休暇」がとれない者のため、「ひといき休暇」も制定して休暇を推進

1年以内に工事が完了するようなケースでは、毎年、現場異動休暇が取得可能ですが、ダムや橋、トンネルなどの現場は1年で完了ということはありません。このような状況への配慮として、1年以上同じ現場に勤務し異動がない場合には、最大5日間の休暇がとれることにしています。ただ、なかなか取得が進まなかったことから、定期的に行われる労働組合との話し合いの中で「ひといき休暇」という名前の休暇制度にしました。わかりやすい名前を付けたことで理解も進み、以前より取得者が増えてきていますが、それでも現場異動休暇にくらべるとまだまだ少ないのが現状です。社員の活力の維持のためにもさらなる普及促進をしていきたいと考えています。

ボランティア休暇

企業の社会貢献が世の中で注目されるようになってきたことや、個人のボランティア活



監査部
主査
古市 敏雄さん
(ボランティア休暇)

新聞で見つけて参加

東日本大震災のボランティアを、さいたま市が募集しているのをたまたま新聞

で見つけて関心を持ち、仕事のスケジュールが調整可能なタイミングだったので参加しました。木曜の夜に出て、金曜、土曜と作業して、土曜の夜に帰ってくるコースです。日曜を休養にあてられるのは、勤めている身にはよかったですね。今年の6月と9月に1日ずつ取得しました。川や畑の瓦礫を撤去しましたが、被災の状況が凄まじいため、30人集まってもなかなか片付かず、成果はごく限られたものだったなという思いが残っています。

当社の社内のイントラネット上に「ボランティアweb」というページがあり、被災地ボランティアに東北支店の社員が4~5人でチームを組んで頻繁に出かけているという話が出ていました。こういう情報に接したことが、自分がボランティアに参加する事に対する後押しになりましたね。社会貢献という意味でこうした活動に対して会社が休暇を導入しているのはいいことだと思います。業務を調整して、タイミングが合えば、また被災地に出かけたい、「岩手、宮城に行ったので、福島にも手伝いに行きたい!」そう思っています。



建築事業本部
濱田 祐一さん
(現場異動休暇)

建設工事が終わったあとの 気分転換が図れる

工期が短い現場や土日交代で休みながら作業を続ける現場もあるので、なかなか思うように休みがとりにくいという実情があります。個人的には、そうした環境に対するご褒美的な意味合いで、現場異動休暇の取得を糧に頑張っているとも言えます。入社して6年目になりますが、これまでに5~6回取得しました。この前まで九州支店にいたので鹿児島島の霧島や指宿温泉に行ったり、最大9日間の休みを利用し、友人と予定を合わせて東京ディズニーランドに行ったこともあります。現場の終わりが近づくと、「現場異動休暇を使ってどこに行く? 何したい?」という話題になるくらい、みんなが楽しみにしています。工事が終わると一つやりあげたという達成感と同時に、エネルギーを使い果たした感があります。きっと、この休暇によって、次の現場に向けて、とてもいい気分転換や充電ができていたのだと思います。

動に対する意識も高まってきたことから、「ボランティア休暇」を平成19年度に制定しました。当社としては、ボランティア活動は基本的に年次有給休暇で対応するという考えでしたが、あえて休暇として制度化することで、社員の社会貢献に対する意識を高められるだろうと考えました。ボランティア休暇の取得にあたっては、年次有給休暇と区別するため、事前にどんな活動をするのか申請書で提出し、取得後に活動結果を報告してもらうようにしています。取得実績としては着

実に増えてきていますが、今年は特に東日本大震災があり、多くの人がこの休暇を利用してボランティア活動に取り組んでいます。

